

ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

1999年(平成11年)8月25日 No. 1134

目次

サハリンⅡで石油の生産が始まった.....	中居 孝文 1
旧ソ連・東欧貿易商況(1999年7月分).....	11
キーバソン ロシア新首相が就任.....	13
CIS諸国通貨の最新為替レート.....	13

サハリンⅡで石油の生産が始まった

はじめに サハリン大陸棚石油・天然ガス開発は、日ロ経済協力の最大の目玉といえる。そのうちのサハリンⅡで今年7月初め原油の生産がいよいよ始まった。サハリンⅠでも5月中旬にサハリン～日本間天然ガスパイプライン建設計画が浮上、同計画に関するF/Sが6月下旬に開始された。またサハリンⅢでは5月初めにキリンスキー鉱区のPS鉱区リスト法が発効するなど、1999年に入ってサハリンプロジェクトを巡る動きが活発化している。

本稿では、上記の問題を中心にサハリンプロジェクトの最近の動向を概観する。なお、サハリン大陸棚石油・天然ガス開発に関しては、日本でも多くの調査・研究がすでに行われている。プロジェクトのこれまでの経緯と概要については、末尾の参考文献を参照されたい。

1. サハリンⅡ

米国のマラソン、日本の三井物産、三菱商事、英蘭のロイヤル・ダッチ・シェルの4社(事業主体は4社の出資するサハリン・エナジー・インベストメント社)が進めるサハリンⅡで1999年7月4日に生産井からのパイプのバルブが開放され、翌7月5日に原油の噴出をみた。そして7月30日に日米ロの関係者600人を集めて行われた記念式典において正式に商業生産開始が宣言された。

サハリンⅡの生産開始は、①生産物分与方式での資源開発、②大陸棚資源開発、③外資と共同で行う大規模石油開発のいずれの意味でもロシアで初めての経験であり、ロシアの資源開発の歴史において画期を記すものといえるだろう。